

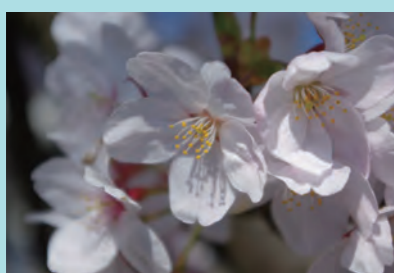
東京 デザイン 巡り

ターミナル駅周辺

東京の主要なターミナル駅である東京駅・新宿駅・上野駅・池袋駅に行ってきました。それぞれ街の特徴が駅周辺を見てみるとわかります。

これから東京オリンピック・パラリンピックに向けて街の様子も変わっていくと思われます。数年のうちに街がどのように変わっていくか気にしてみるのも楽しいでしょう。

広報委員：永田 翔太郎／株式会社ムラヤマ



上野公園の桜

東京駅



都市の広場（仮称）整備区画

もちろん外すことの出来ない東京駅。プラットホームの数は日本一だそうです。丸の内側の赤レンガ駅舎は1914年に竣工、1945年に戦災によりドーム屋根などが失われた後に1947年に修復がほどこされ、2012年に竣工時の姿へと復元が完了しました。丸の内の駅前広場は再整備が進められており2017年春に都市の広場（仮称）という大きな歩行者空間が出来る予定です。また八重洲側も再開発が進みます、2020年～2023年には写真の雑居ビル群は250m級の高層ビルへと姿を変える予定です。



八重洲側再開発予定地区（北地区）



八重洲側再開発予定地区（東地区）

新宿駅



東京の副都心である新宿。一日の乗降者数は約326万人で世界一としてギネスに認定されています。新宿といえば西側の高層ビル群、これは1960年代から始まった新宿副都心計画をきっかけに形成されていきました。新宿駅前には路線バス乗り場や高速バスターミナルも多いのが特徴です。



上野駅



北の玄関口として機能している上野駅。その歴史は古く1883年に日本初の私鉄である日本鉄道の駅として開業しました。駅の南側には東西自由通路のパンダ橋がかかっています。この橋は災害時に駅東側から上野公園に避難できるように設計されています。西側には上野の森が広がり南はアメ横へとつながります。



東西自由通路（パンダ橋）

池袋駅



乗降者数が新宿駅に次ぐ池袋駅。東京都西部や埼玉県南西部からの利用者を抱えています。駅の周辺には多くの百貨店があり、東京有数の繁華街となっています。

